



2014 春季生活闘争ニュース

2014.3.12 7号

編集：連合北海道組織労働局

いよいよ本日12日は、集中回答日のヤマ場。各地域においても、街宣行動などを展開中！連合北海道と石狩地域協議会では、2014春闘 第1グループの回答ヤマ場に合わせて、3月10日～14日まで、札幌市内の地下鉄駅で5日連続の早朝街頭宣伝行動を実施している。

初日の10日は、朝8時から8時30分まで、地下鉄琴似駅前まで15人の組合員と共に、月例賃金の大幅引き上げや公務員給与の総合的見直しに反対するチラシ入りのティッシュ約2000枚を配布した。応援弁士として民主党から、西区選出の道下道議、大島市議、中村市議、西区岩崎副代表が駆けつけ、春闘の交渉ヤマ場にあたり、月例賃金の引き上げの重要性を訴えた。

11日は朝8時から8時30分まで地下鉄真駒内駅において、16人の組合員と共にチラシの入ったティッシュを約1600個配布した。今後は、新さっぽろ、さっぽろ駅南口、麻生で街頭宣伝を行っていく。



配布中のチラシ

詳細は連合北海道 HP でご覧ください



応援に駆けつけた道下道議(琴似)



雪の中でのチラシ配布(真駒内)

3月6日「函館・総決起集会」280名

吹雪の中、函館市内テレシアターにて渡島地協・荒木会長が挨拶に立ち、「地域における環境の厳しさと政治の動向、更には今春闘の果たすべき役割」に触れ、参加者一丸となった取り組みを要請した。先行グループでもある私鉄総連、地場中小労組、民間医療関係、ハイタクの仲間の要求と闘う決意が述べられた。



函館地区連合相澤副会長

集会決議・アピール採択の後西田会長代行の音頭で団結ガンバローを三唱し、集会を終えた。

3月8日「網走・総決起集会」650名

主催者挨拶の後、私鉄総連網走バス支部、情報労連北見地区協議会、連合網走地域協議会が2014春闘の取り組みへの決意表明を行った。その後、北見市内中心部をデモ行進した。



北見市内をデモ行進

3月10日「宗谷・総決起集会」150名

稚内海員会館冒頭、震災・原発事故を風化させないとともに震災で亡くなられた方々のご冥福を祈って黙とうを捧げた。村本会長が「賃上げはコストではなく人的投資。デフレ脱却へむけ、すべての働く者の均等・均衡待遇実現、雇用と生活の安定を求め闘っていこう」と挨拶した。

連合北海道・岡島副事務局長が、「今春闘は、月例賃金引き上げにこだわり、デフレからの脱却をめざす闘い」とし「自動車、電機など一部大手はベア回答の模様だが、道内地場は厳しい闘いが予想される。官民一体となって闘っていこう」と訴えた。

全開発、JP労組、全道庁からの決意表明後、集会決議、特別アピールを確認し、村元会長の団結ガンバローで集会を終えた。



連合北海道 岡島副事務局長